

(株)トキワ

中津川市・化粧品製造

平成29年度
認定

従業員の3分の2をパート社員が占めていることから支援も手厚い。地域貢献活動にも積極的。昨年から途上国支援のためのエコキャップ回収を始め、3カ月で2万1500個(ワクチン25人分)が集まった。月2回の工場周辺の清掃活動も長年続けている。

従業員数/男性143名 女性317名 計460名(中津川工場、落合工場) ※平成31年2月現在



化粧品の製造ラインでは主にパート社員が活躍。充実した福利厚生を利用して、パート社員でも安心して長期間働ける環境を整えている。

現場の声生かし働きやすく

製造業

パート社員に対しても正社員と同等に、安心して働ける環境を整えている。例えば、育児や介護休暇の取得、慶弔見舞金、特別休暇の利用が可能である。また、個人面談も年3回実施している。パート社員の多くは工場でのライン作業で、上司への相談のために作業を中断

させることが難しいこともあるため、フォローアップや育成方針に対する意見をすり合わせる貴重な場となっている。

毎週水曜日にラインを止めて15分間行う小集団活動でも正社員とパート社員が3、4人ずつのチームになり、業務の効率化や作業場の有効な使い方などを探っている。それぞれが気付いたことを紙に書き提出する改善提案活動も行っている。小集団活動で出た意見は年3回、パネルにまとめて発表、改善提案活動の内容は毎月、食堂に掲示する。いずれも優秀なものは表彰し賞金も贈る。中津川工場改善提案委員の安藤剛委員長は「両方も10年以上前から続けている。意見が通り仕事がかじるようになったと感じている従業員は多い。意見を自由に交わせる雰囲気職場に根付いている」と話す。



全従業員を対象に、年3回の個人面談を実施。従業員側は今後の働き方などの希望を伝える場に、会社側はそれぞれのニーズを把握する場となっている。

化粧品のアイデアを募るアイデアバトルも毎年開催。即座に商品化させることを目的としているのではなく、提案力強化や創造性を高めることが狙い。宮崎貞執行役員は「開発部門でも常に新しいアイデアを考えているが、どうしても実現性やコストを考えてしまう。そういうことを気にせず『あったらいいな』を自由に考える良い機会になっている」と話している。